

# 結果の概要

# 結果の概要

## 1 概況

事業所数は5,725事業所、前年比▲6.4%で2年ぶりの減少、従業者数は18万900人、前年比▲0.6%で6年連続の減少、製造品出荷額等は4兆3,665億円、前年比+0.6%で3年連続の増加、付加価値額は1兆6,272億円、前年比▲4.9%で3年ぶりの減少となりました。

なお、従業者1人当たり付加価値額は900万円、前年比▲4.3%で3年ぶりの減少となりました。

表1 平成24年製造業の動向（従業者4人以上の事業所）

区 分	実 数		増 減（前年比）	全国前年比
	H23年	H24年		
事業所数	6,116 事業所	5,725 事業所	▲391事業所（▲6.4%） 2年ぶりの減少	▲7.3%
従業者数	182,061 人	180,900 人	▲1,161人（▲0.6%） 6年連続の減少	▲0.6%
製造品出荷額等	4兆3,414 億円	4兆3,665 億円	+251億円（+0.6%） 3年連続の増加	+1.3%
付加価値額	1兆7,113 億円	1兆6,272 億円	▲841億円（▲4.9%） 3年ぶりの減少	▲3.5%
[参考] 従業者1人当たり付加価値額	940 万円	900 万円	▲40万円（▲4.3%） 3年ぶりの減少	▲2.9%

表2 新潟県の全国順位（従業者4人以上の事業所）

区 分	H23年	H24年
事業所数	9位（全国シェア2.6%）	11位（全国シェア2.6%）
従業者数	17位（同 2.4%）	17位（同 2.4%）
製造品出荷額等	23位（同 1.5%）	23位（同 1.5%）
付加価値額	20位（同 1.9%）	20位（同 1.8%）

図1 新潟県の主要産業の構成（従業者4人以上の事業所）

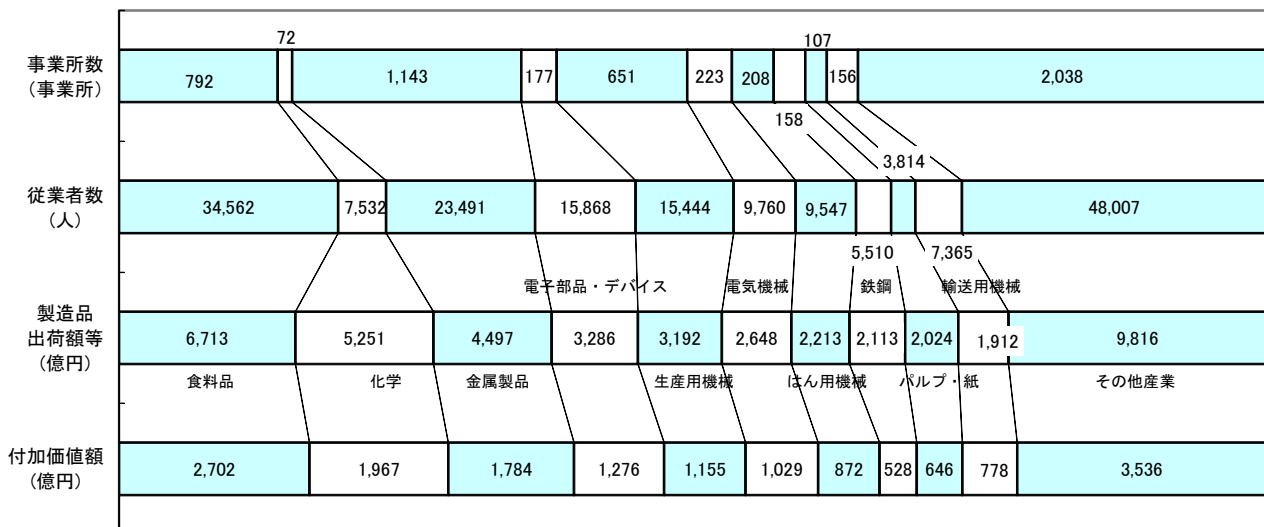


図2 製造業の事業所数・従業者数の年次別推移（従業者4人以上の事業所）

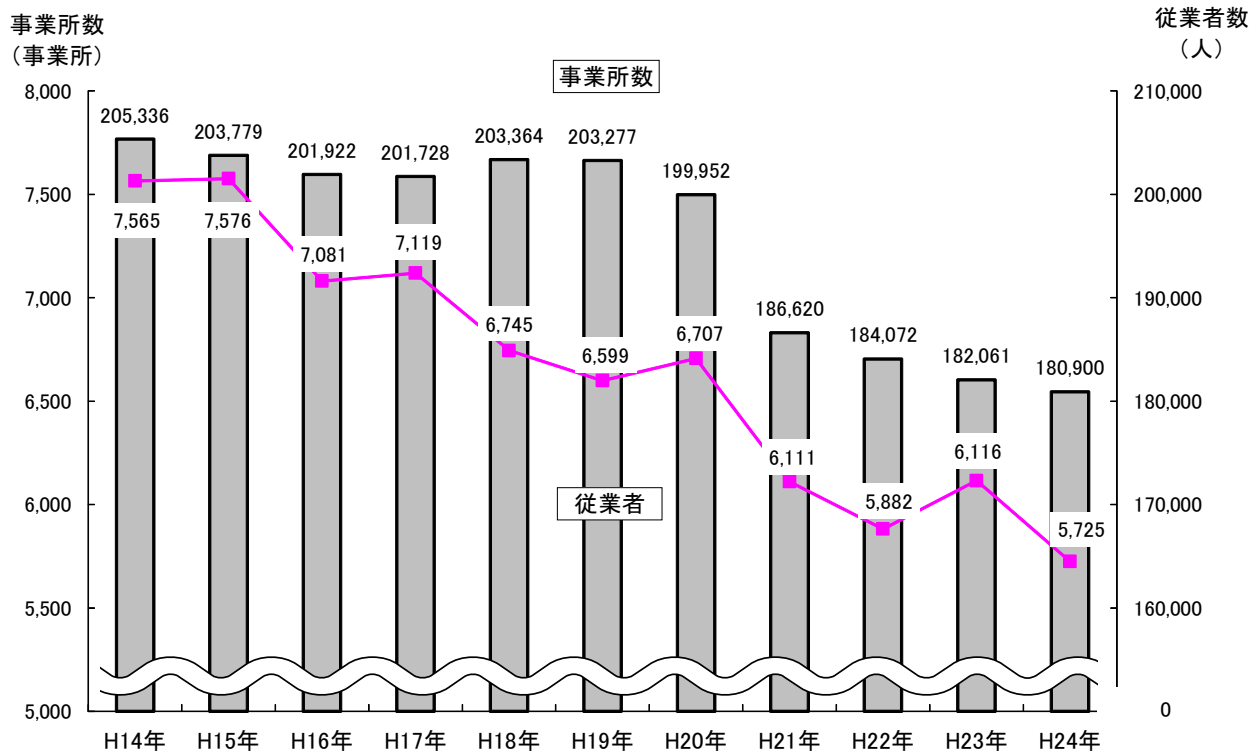
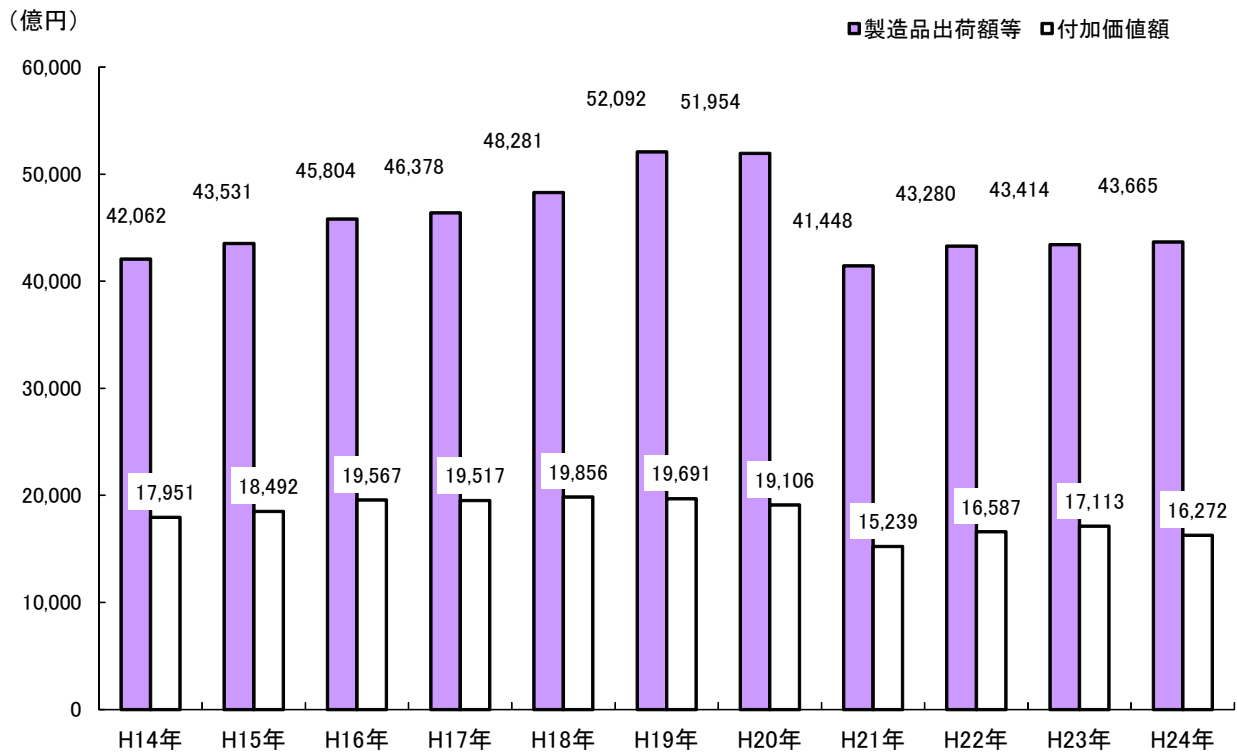


図3 製造業の製造品出荷額等及び付加価値額の年次別推移（従業者4人以上の事業所）



## 2 産業別の状況

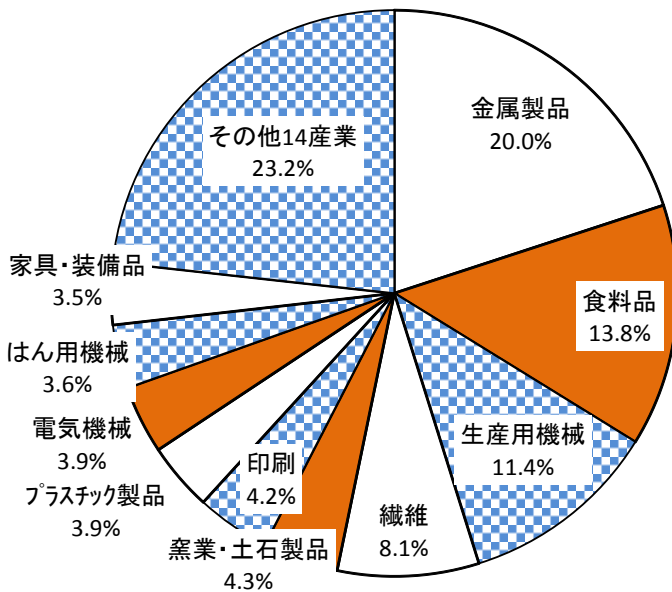
### (1) 事業所数 ～上位3産業は金属製品、食料品、生産用機械～

事業所数は5,725事業所で391事業所減少（前年比▲6.4%）しました。

産業別で事業所数が最も多いのは、金属製品で1,143事業所（構成比20.0%）、次いで食料品が792事業所（13.8%）、生産用機械が651事業所（11.4%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の4割以上（45.2%）を占めています。

図4 事業所数の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）

（単位：事業所）



構成比順位	前年順位	産業分類	H23年	H24年	増減
1	←1	金属製品	1,190	1,143	▲47
2	←2	食料品	836	792	▲44
3	←3	生産用機械	710	651	▲59
4	←4	繊維	522	462	▲60
5	↑6	窯業・土石製品	268	248	▲20
6	↓5	印刷	276	241	▲35
7	←7	プラスチック製品	242	223	▲19
7	↑9	電気機械	219	223	+4
9	↑10	はん用機械	212	208	▲4
10	↓8	家具・装備品	223	203	▲20
-	-	その他	1,418	1,331	▲87
合 計			6,116	5,725	▲391

増加したのは、電気機械が+4事業所（前年比+1.8%）、化学が+2事業所（+2.9%）、ゴム製品が+1事業所（+3.6%）等、24産業中5産業でした。減少したのは、繊維が▲60事業所（▲11.5%）、生産用機械が▲59事業所（▲8.3%）、金属製品が▲47事業所（▲3.9%）等、19産業でした。

表3 事業所数の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：事業所、前年比は%）

増 加					減 少				
産 業	H23	H24	増加数	前年比	産 業	H23	H24	減少数	前年比
電気機械	219	223	+4	+1.8	繊維	522	462	▲60	▲11.5
化学	70	72	+2	+2.9	生産用機械	710	651	▲59	▲8.3
ゴム製品	28	29	+1	+3.6	金属製品	1,190	1,143	▲47	▲3.9
石油・石炭製品	35	36	+1	+2.9	食料品	836	792	▲44	▲5.3
輸送用機械	155	156	+1	+0.6	印刷	276	241	▲35	▲12.7

（増減の大きな上位5産業）

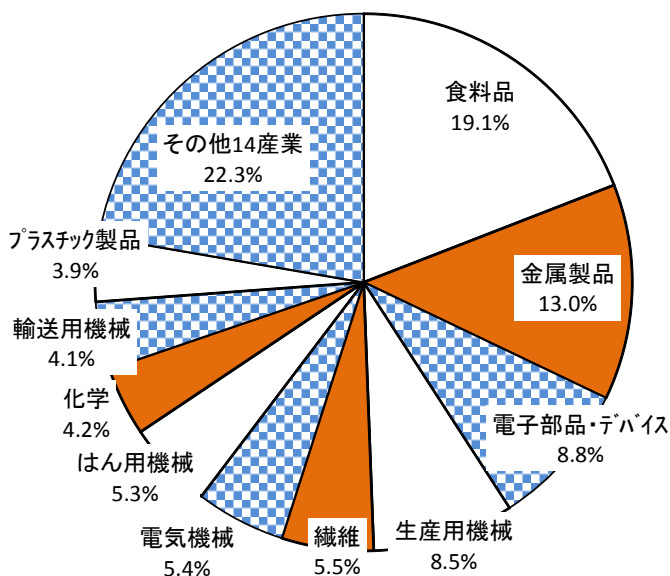
## (2) 従業者数 ～上位3産業は食料品、金属製品、電子部品・デバイス～

従業者数は180,900人で1,161人減少（前年比▲0.6%）しました。

産業別で従業者数が最も多いのは、食料品で34,562人（構成比19.1%）、次いで金属製品が23,491人（13.0%）、電子部品・デバイスが15,868人（8.8%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の約4割（40.9%）を占めています。

図5 従業者数の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）

（単位：人）



構成比順位	前年順位	産業分類	H23年	H24年	増減
1	←1	食料品	34,023	34,562	+1,539
2	←2	金属製品	21,355	23,491	+2,136
3	←3	電子部品・デバイス	16,506	15,868	▲638
4	←4	生産用機械	16,192	15,444	▲748
5	←5	繊維	10,772	10,005	▲767
6	↑7	電気機械	9,737	9,760	+23
7	↓6	はん用機械	10,302	9,547	▲755
8	←8	化学	7,545	7,532	▲13
9	←9	輸送用機械	7,317	7,365	+48
10	←10	プラスチック製品	7,287	7,019	▲268
-	-	その他	42,025	40,307	▲1,718
合計			182,061	180,900	▲1,161

増加したのは、金属製品が+2,136人（前年比+10.0%）、食料品が+1,539人（+4.7%）、家具・装備品が+97人（+3.2%）等、24産業中8産業でした。減少したのは、繊維が▲767人（▲7.1%）、はん用機械が▲755人（▲7.3%）、生産用機械が▲748人（▲4.6%）等、16産業でした。

表4 従業者数の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：人、前年比は%）

増加					減少				
産業	H23	H24	増加数	前年比	産業	H23	H24	減少数	前年比
金属製品	21,355	23,491	+2,136	+10.0	繊維	10,772	10,005	▲767	▲7.1
食料品	33,023	34,562	+1,539	+4.7	はん用機械	10,302	9,547	▲755	▲7.3
家具・装備品	3,061	3,158	+97	+3.2	生産用機械	16,192	15,444	▲748	▲4.6
非鉄金属	2,172	2,255	+83	+3.8	窯業・土石製品	5,552	4,814	▲738	▲13.3
情報通信機械	2,906	2,963	+57	+2.0	電子部品・デバイス	16,506	15,868	▲638	▲3.9

（増減の大きな上位5産業）

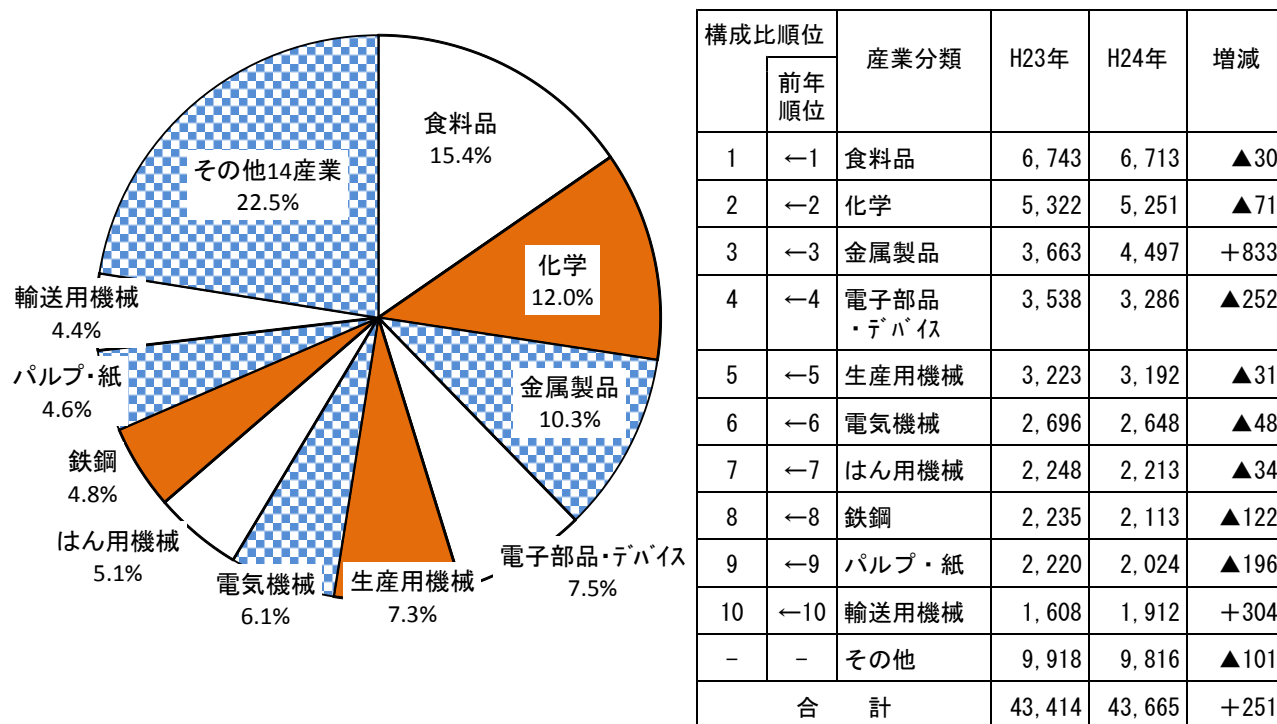
### (3) 製造品出荷額等 ～上位3産業は食料品、化学、金属製品～

製造品出荷額等は4兆3,665億円で251億円増加（前年比+0.6%）しました。

産業別で製造品出荷額等が最も多いのは、食料品で6,713億円（構成比15.4%）、次いで化学が5,251億円（12.0%）、金属製品が4,497億円（10.3%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の約4割（37.7%）を占めています。

図6 製造品出荷額等の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）

（単位：億円）



増加したのは、金属製品が+833億円（前年比+22.8%）、業務用機械が+318億円（+27.6%）、輸送用機械が+304億円（+18.9%）等、24産業中8産業でした。減少したのは、電子部品・デバイスが▲252億円（▲7.1%）、パルプ・紙が▲196億円（▲8.8%）、窯業・土石製品が▲169億円（▲13.8%）等、16産業でした。

表5 製造品出荷額等の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：億円、前年比は%）

増加					減少				
産業	H23	H24	増加数	前年比	産業	H23	H24	減少数	前年比
金属製品	3,663	4,497	+833	+22.8	電子部品・デバイス	3,538	3,286	▲252	▲7.1
業務用機械	1,149	1,467	+318	+27.6	パルプ・紙	2,220	2,024	▲196	▲8.8
輸送用機械	1,608	1,912	+304	+18.9	窯業・土石製品	1,229	1,060	▲169	▲13.8
印刷	799	838	+39	+4.9	鉄鋼	2,235	2,113	▲122	▲5.5
石油・石炭製品	183	202	+20	+10.8	情報通信機械	1,208	1,086	▲122	▲10.1

（増減の大きな上位5産業）

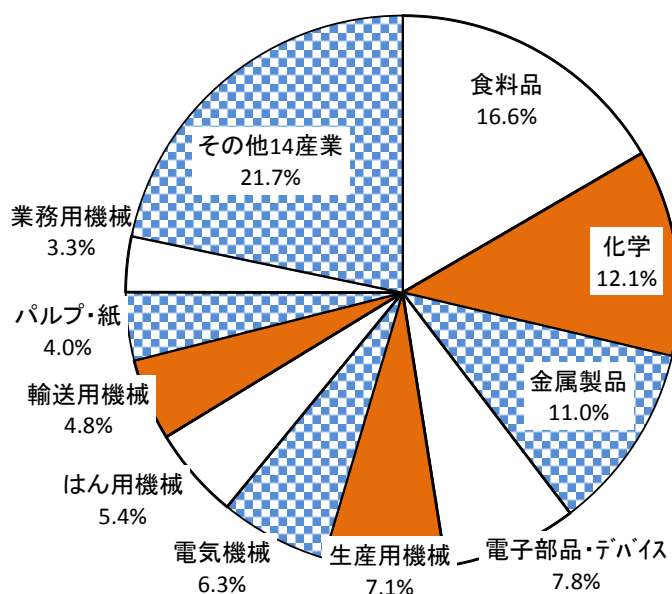
#### (4) 付加価値額 ～上位3産業は食料品、化学、金属製品～

付加価値額は1兆6,272億円で841億円減少（前年比▲4.9%）しました。

産業別で付加価値額が最も多いのは、食料品で2,702億円（構成比16.6%）、次いで化学が1,967億円（12.1%）、金属製品が1,784億円（11.0%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の約4割（39.7%）を占めています。

図7 付加価値額の産業分類別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）

（単位：億円）



構成比順位	前年順位	産業分類	H23年	H24年	増減
1	←1	食料品	2,948	2,702	▲246
2	←2	化学	1,838	1,967	+129
3	←3	金属製品	1,643	1,784	+140
4	↑5	電子部品・デバイス	1,453	1,276	▲178
5	↓4	生産用機械	1,551	1,155	▲396
6	←6	電気機械	1,127	1,029	▲98
7	←7	はん用機械	970	872	▲98
8	↑11	輸送用機械	546	778	+232
9	↓8	パルプ・紙	817	646	▲171
10	↑16	業務用機械	321	529	+209
-	-	その他	3,900	3,535	▲364
合計			17,113	16,272	▲841

増加したのは、輸送用機械が+232億円（前年比+42.5%）、業務用機械が+209億円（+65.1%）、金属製品が+140億円（+8.5%）等、24産業中7産業でした。減少したのは、生産用機械が▲396億円（▲25.5%）、食料品が▲246億円（▲8.3%）、電子部品・デバイスが▲178億円（▲12.2%）等、17産業でした。

表6 付加価値額の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：億円、前年比は%）

増加					減少				
産業	H23	H24	増加数	前年比	産業	H23	H24	減少数	前年比
輸送用機械	546	778	+232	+42.5	生産用機械	1,551	1,155	▲396	▲25.5
業務用機械	321	529	+209	+65.1	食料品	2,948	2,702	▲246	▲8.3
金属製品	1,643	1,784	+140	+8.5	電子部品・デバイス	1,453	1,276	▲178	▲12.2
化学	1,838	1,967	+129	+7.0	パルプ・紙	817	646	▲171	▲20.9
印刷	324	346	+22	+6.9	はん用機械	970	872	▲98	▲10.1

（増減の大きな上位5産業）

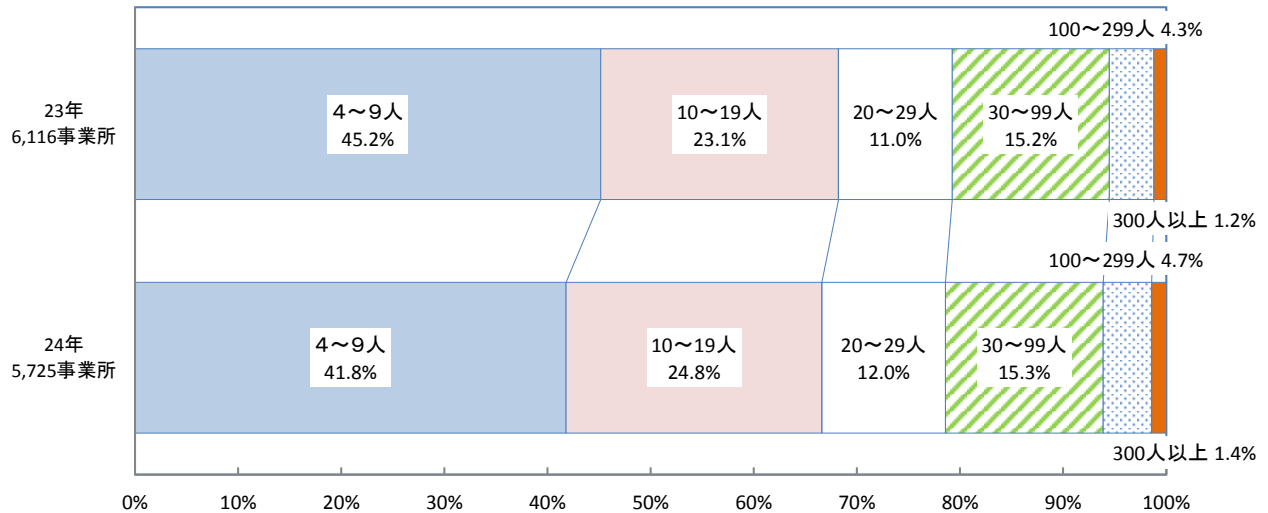
### 3 従業者規模別の状況

#### (1) 事業所数 ～4～9人の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で事業所数が最も多いのは、4～9人で2,393事業所（構成比41.8%）、次いで10～19人が1,420事業所（24.8%）、30～99人が876事業所（15.3%）の順となっており、4～9人の事業所が全体の約4割を占めています。

増加したのは、300人以上（前年比+11.0%）、20～29人（+1.6%）、100～299人（+1.5%）、10～19人（+0.7%）でした。減少したのは、4～9人（▲13.4%）、30～99人（▲5.9%）でした。

図8 事業所数の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

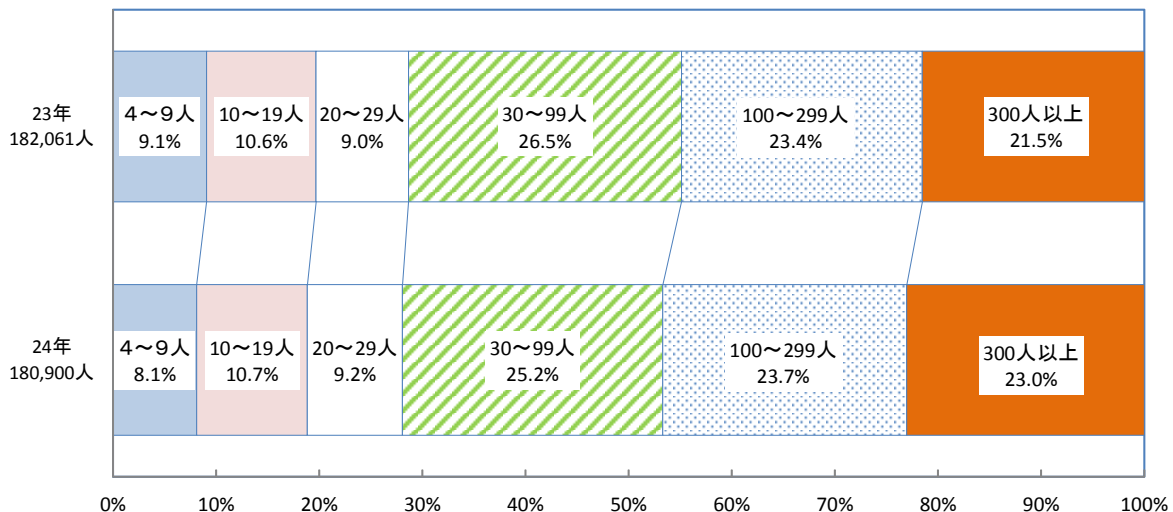


#### (2) 従業者数 ～100人以上の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で従業者数が最も多いのは、30～99人で45,676人（構成比25.2%）、次いで100～299人が42,798人（23.7%）、300人以上が41,660人（23.0%）の順となっており、100人以上（100～299人及び300人以上）の事業所が全体の約4割を占めています。

増加したのは、300人以上（前年比+6.3%）、20～29人（+2.2%）、100～299人（+0.7%）、10～19人（+0.5%）でした。減少したのは、4～9人（▲11.1%）、30～99人（▲5.2%）でした。

図9 従業者数の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

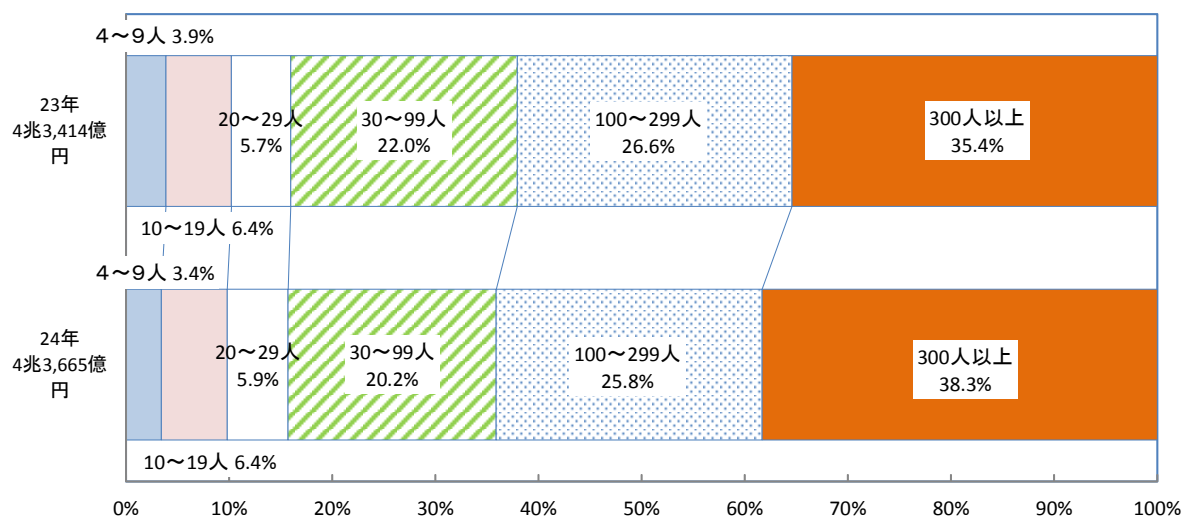


### (3) 製造品出荷額等 ～300人以上の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で製造品出荷額等が最も多いのは、300人以上で1兆6,733億円（構成比38.3%）、次いで100～299人が1兆1,257億円（25.8%）、30～99人が8,811億円（20.2%）の順となっており、300人以上の事業所が全体の約4割を占めています。

増加したのは、300人以上（前年比+8.8%）、20～29人（+3.2%）、10～19人（+1.1%）でした。減少したのは、4～9人（▲10.9%）、30～99人（▲7.6%）、100～299人（▲2.7%）でした。

図10 製造品出荷額等の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

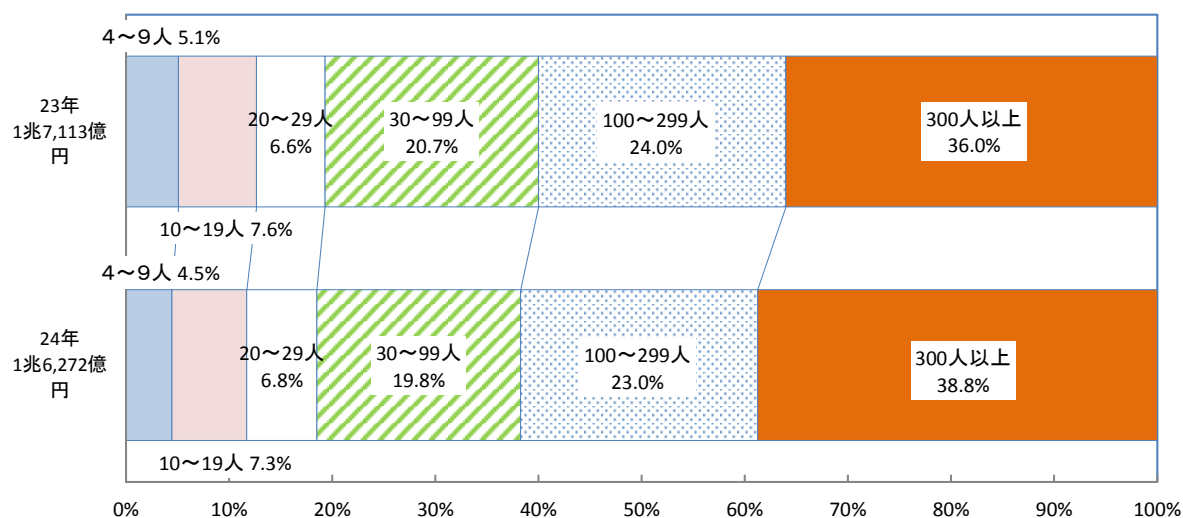


### (4) 付加価値額 ～300人以上の事業所が3割以上を占める～

従業者規模別で付加価値額が最も多いのは、300人以上で6,306億円（構成比38.8%）、次いで100～299人が3,740億円（23.0%）、30～99人が3,216億円（19.8%）の順となっており、300人以上規模の事業所が全体の約4割を占めています。

増加したのは、300人以上（前年比+2.3%）でした。減少したのは、4～9人（▲16.8%）、30～99人（▲9.2%）、100～299人（▲8.9%）、10～19人（▲8.8%）、20～29人（▲2.8%）でした。

図11 付加価値額の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）











## 5 全国値との比較

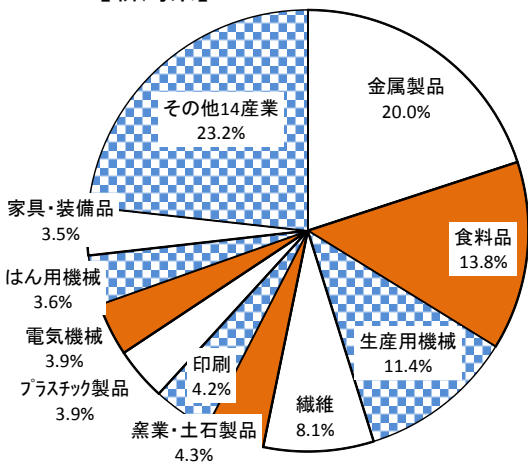
### (1) 事業所数 ～本県と同様に全国値も減少（▲7.3%）～

全国の事業所数は216,262事業所で、16,924事業所減少（前年比▲7.3%）しました。これは本県（▲6.4%）と同様の傾向です。

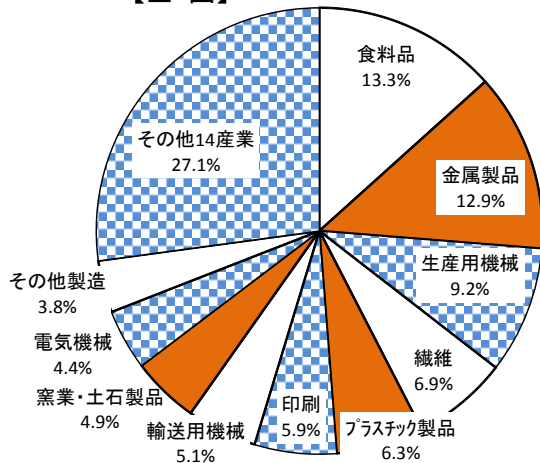
全国で事業所数が最も多い産業は、食料品で28,852事業所（構成比13.3%）、次いで金属製品が27,951事業所（12.9%）、生産用機械が19,944事業所（9.2%）の順となっています。

新潟県				全国			
H23	H24	増減	増減率	H23	H24	増減	増減率
6,116事業所	5,725事業所	▲391事業所	▲6.4%	233,186事業所	216,262事業所	▲16,924事業所	▲7.3%

【新潟県】



【全国】



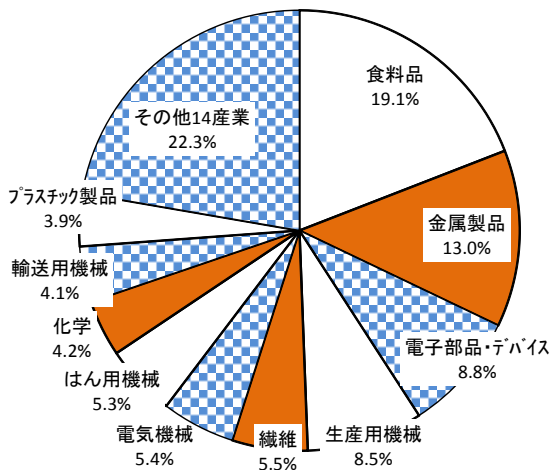
### (2) 従業者数 ～本県と同様に全国値も減少（▲0.6%）～

全国の従業者数は7,425,339人で、46,772人減少（前年比▲0.6%）しました。これは本県（▲0.6%）と同様の傾向です。

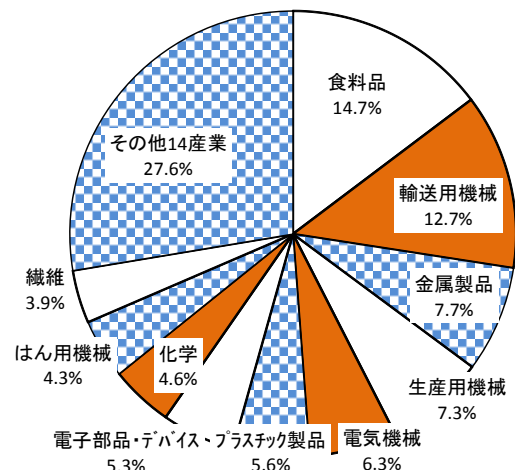
全国で事業所数が最も多い産業は、食料品で1,092,789人（構成比14.7%）、次いで輸送用機械が945,164人（12.7%）、金属製品が572,631人（7.7%）の順となっています。

新潟県				全国			
H23	H24	増減	増減率	H23	H24	増減	増減率
182,061人	180,900人	▲1,161人	▲0.6%	7,472,111人	7,425,339人	▲46,772人	▲0.6%

【新潟県】



【全国】



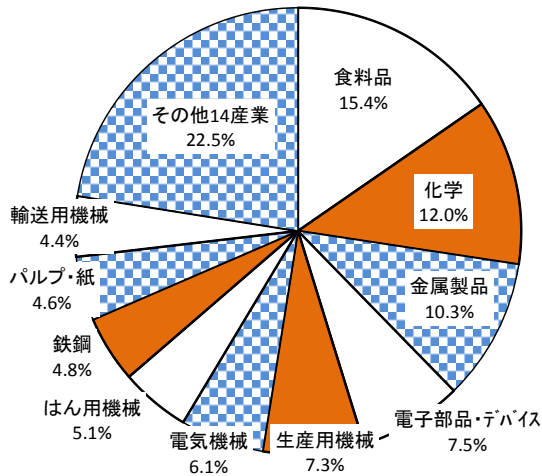
**(3) 製造品出荷額等 ～本県と同様に全国値も増加（+1.3%）～**

全国の製造品出荷額等は288兆7,276億円で、3兆7,589億円増加（前年比+1.3%）しました。これは本県（+0.6%）と同様の傾向です。

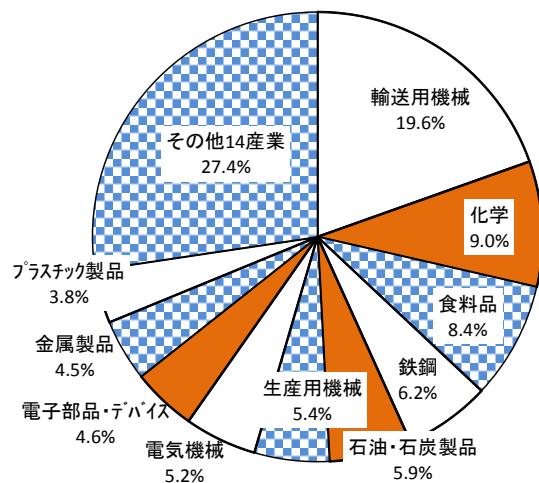
全国で製造品出荷額等が最も多い産業は、輸送用機械で56兆4,858億円（構成比19.6%）、次いで化学が26兆379億円（9.0%）、食料品が24兆3,020億円（8.4%）の順となっています。

新潟県				全国			
H23	H24	増減	増減率	H23	H24	増減	増減率
43,414億円	43,665億円	+251億円	+0.6%	2,849,688億円	2,887,276億円	▲37,589億円	+1.3%

【新潟県】



【全国】



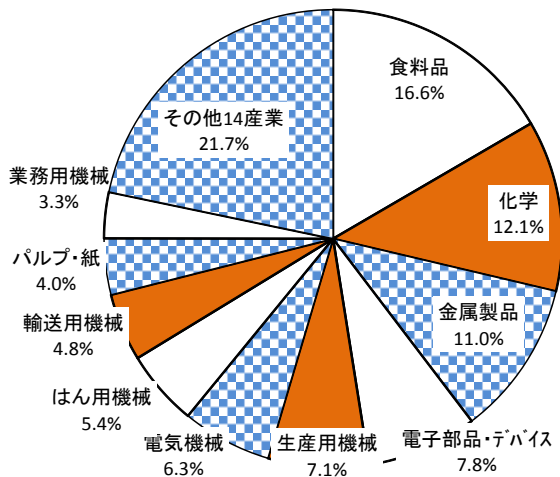
**(4) 付加価値額等 ～本県と同様に全国値も減少（▲3.5%）～**

全国の付加価値額は88兆3,947億円で3兆1,598億円減少（前年比▲3.5%）しました。これは本県（▲4.9%）と同様の傾向です。

全国で付加価値額が最も多い産業は、輸送用機械で15兆4,418億円（構成比17.5%）、次いで化学が9兆7,106億円（11.0%）、食料品が8兆5,650億円（9.7%）の順となっています。

新潟県				全国			
H23	H24	増減	増減率	H23	H24	増減	増減率
17,113億円	16,272億円	▲841億円	▲4.9%	915,544億円	883,947億円	▲31,598億円	▲3.5%

【新潟県】



【全国】

